

Sci. Rep. Tôhoku Univ. Ser. 2, 30: 112).

Explanation of Plates I, II

Pl. I. Fig. a. Crude diatomaceous earth ($\times 450$. Shimonishi). b, c. *Coscinodiscus elegans* (b. $\times 700$. c. $\times 9000$. Minoura).

Pl. II. Fig. a, b. *Coscinodiscus elegans*. (b. Girdle view: note the papillate loculi on valve surface.) c-e. var. *minutus*, var. nov. (d. Holotype. c, e. Paratype.) f-h. *Denticula lauta* var. *valida*. i-m. *Coscinodiscus marginatus*. (a. $\times 330$. b-g. $\times 1000$. h. $\times 3000$. i-l. $\times 500$. m. $\times 4000$. a. Tsutsuka. b-e, l. Kamo. f, h, m. Minoura. g, i, k. Okutsudo. j. Shimonishi.)

○高等植物分布資料 (35) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (35)

○ナンブソウ *Achlys japonica* Maxim. 北海道・本州の冷温帯に分布し, 清水大典氏により, 山形県の吾妻山大平のものが, 南限として報告されている。(つち團子・第3号)。1964年6月7日, 福島県南会津郡下郷町大字白岩地内に於て, 同地出身の玉川岩雄君の教示により, 池上義信, 斎藤慧, 馬場義仲氏等と共に, 又見山山麓の風穴(標高300m)を観察した。この折, 冷風の吹き出す風穴の出口附近に, シモフリゴケ, ダチョウゴケ, カギハイゴケ属などの中から, やゝ花期のすぎたナンブソウを見ることができた。マルバアオダモ, エゾツリバナ, エゾイボタ, ノリウツギ, フサザクラ, オオバボダイジュ, サワシバ, ネジキ, チョウセンゴミシ, ウゴツクバネウツギ, カスミザクラ, ヨグソミネバリ, ハシドイなどがつくる灌木林床に, 安山岩塊が積み重なり, 3アールほどの広がりで, 薙類と共に, ナンブソウが, 散生しており, このほか, 風穴内には, ミヤマメシダ, ミヤマワラビ, オゼザサ, イワシロイノデ, ヤマドリゼンマイ, ミヤマハタザオ, コキンバイ, ハイイヌツゲ, クルマユリ, アイズシモツケ, ベニバナイチヤクソウ, ミズギクなどが見られ, 附近に, コカンスゲ, ミヤマクマワラビを見ることができた。

ここに, ナンブソウの新産地として報告し, 標本を福島県立若松女子高校におく。なおすぐ近くの下郷町大字湯の上地内には, オオタカネイバラの産地として, 本年文化財指定を受けた中山風穴があるが, ここにはナンブソウを見ることができなかつた。何れも遺存種と考えられる。種々御教示を賜わった池上義信先生に感謝申し上げます。

(福島県立若松女子高校, 折笠常弘)